

被爆 70 周年原水爆禁止世界大会・国際会議

日 時：2015年8月5日（水） 13：30～17：00（13：00開場）

場 所：アークホテル広島 4階「鶴の間」（定員120人）

広島市南区西荒神町1-45 / Tel082-263-6363

参加費：資料・同時通訳装置代：1,000円

テ ー マ：2015年NPT再検討会議の結果と展望そして私たちの役割

～核兵器廃絶と日本のプルトニウム政策

内 容：国際会議は、原水禁世界大会の国際的な意義を深める重要な役割を果たします。今年、NPT再検討会議の結果を受けて、核兵器廃絶に向けた日本の役割について考えるとともに、深刻な原発事故を経験したにもかかわらず再稼働しようとし、原発輸出や核燃料サイクルとたまり続けるプルトニウムの問題など、日本の原子力政策（特にプルトニウム利用政策）が国際社会に与える影響について、日・英・米・韓の専門家が一堂に会して忌憚のない意見をたたかわせます。

司 会：藤本泰成（原水禁事務局長）

報告者：ポール・マーチン（アメリカ／ピースアクション）

ニック・リッチー（イギリス／ヨーク大学）

イ・キョンジュ（韓国／参与連帯）

田窪雅文（日本／WEBサイト「核情報」主宰）

プログラム：	開会あいさつ	川野浩一	（5分）	13:30～13:35
	司会／あいさつ、パネリスト紹介	藤本泰成	（5分）	13:35～13:40
	国際会議の意義について	藤本泰成	（10分）	13:40～13:50
	各パネリストからの報告	基本各20分提起		13:50～15:10
	休憩		（10分）	15:10～15:20
	司会者・報告者からの質疑応答			
	会場からの質疑応答		（65分）	15:20～16:25
	司会者まとめ		（5分）	16:25～16:30
	閉会／終了			

●ポール・マーチン

NPT再検討会議を受け、核大国・米国で核軍縮に向けてピースアクションをはじめとした平和運動が何ができるか。特に核の先制使用の問題や、核のアラート（警戒）体制解除の問題などに言及していただき

ます。

●ニック・リッチー

イギリスの核の状況を提起していただきます。イギリスの唯一の核兵器は、スコットランドに配備された原子力潜水艦4隻の潜水艦発射弾道ミサイル「トライデント」のみとなっています。スコットランドでは「非核スコットランド」の動きが盛り上がっています。今回、核兵器をめぐる政府や政党、国民の意識・関心について報告していただきます。

●イ・キョンジュ

米韓原子力協定の改定の問題（特に再処理について）と日本のプルトニウム利用政策をどう韓国社会はとらえているのかを報告していただきます。また、朝鮮民主主義人民共和国の核問題を、韓国社会はどのように捉えているかについても報告していただきます。

●田窪雅文

日本が進める原子力政策、特にプルトニウム利用政策が国際社会では、核拡散問題として捉えられていることを訴え、その問題点を明らかにします。

同時通訳：森あさみ／藤岡美恵子／古川るみ子